

# 中施策評価書

作成日 令和元年 5月 30日

中施策事業名	多文化共生推進事業	部課名	市民生活部・市民協働課
		作成者	水野 美樹

①めざすまちの姿	15 誰もが身近に寄り合える場所があり、地域の人と支え合いながら孤立することなく暮らすことができる
②大施策	身近に寄り合える場所をつくり、地域で支え合える環境をつくる
③中施策	多様な人が交流する機会を充実させ、地域での人と人とのつながりをつくる
④中施策事業の対象	市在住の外国人住民
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市在住の外国人住民に対し、生活に必要な手続きやイベントの情報を提供することで、市及び周辺住民と関わるきっかけを持つことができる
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・豊明市国際交流協会支援事業 ・外国籍市民施策懇話会の開催及び多文化共生計画の推進 ・外国語版広報の作成・配布 ・シェパトン市との交流事業 ・ポルトガル語通訳の配置及び関係課との調整 ・各課から依頼の翻訳物依頼 ・非常勤一般職員に関すること

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
外国語版広報の取得率	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	79	80	80	80	80	80
	実績値	75.7	75.9				
単位	%						
日本語教室の参加者	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	300	300	300	300	300	350
	実績値	275	330				
単位	人						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

## ■コスト

事業実施年度		決算額	決算額	予算額	
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	
① 総事業費(a+b)		12,853千円	9,140千円		
a	事業費合計	9,229千円	9,140千円	9,216千円	
	正規職員	人数	0.62人	0人	
		b金額	3,624千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	3人	0人	
		金額	5,785千円	0千円	
人件費合計		9,409千円	0千円		
② 補助金等(収入)		0千円	0千円	0千円	
③ コスト(①-②)		12,853千円	9,140千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		187円	133円		

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>外国語版広報（英語、中国語、ポルトガル語）について、各施設、店舗等で定期的に活用されている。</p> <p>平成31年4月より2番目に多いベトナム人向けのベトナム語版広報の活用を開始する。</p> <p>外国人の増加に伴い、日本語教室の利用者も目標値を超えてきている。</p>
-----------------------------	---

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	<p>配布場所の拡大をはじめ、区や町内会にもPRし、地域の外国人に活用してもらう。</p> <p>二村台地区は手当たり次第に置いてもらえる所に置いてもらったので、配布の箇所が近場にまとまりすぎていて設置に手間がかかっている。そのため配布場所を統合した。</p>	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	<p>区長会等の場所で国際交流協会から外国人にも町内会加入の呼びかけをしてもらう案内をしてもらう。</p> <p>平成31年4月より発行するベトナム語版広報の内容の充実をする。</p>	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況		
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況		

# 中施策評価書

作成日 令和元年 6月 6日

中施策事業名	区・町内会活動支援事業	部課名	市民生活部・市民協働課
		作成者	水野 美樹
①めざすまちの姿	15 誰もが身近に寄り合える場所があり、地域の人と支え合いながら孤立することなく暮らすことができています		
②大施策	身近に寄り合える場所をつくり、地域で支え合える環境をつくる		
③中施策	多様な人が交流する機会を充実させ、地域での人と人とのつながりをつくる		
④中施策事業の対象	区・町内会等		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	区・町内会の実情や特性にあった財政支援を受けられ、地区交流拠点の新設、交流機会の充実を図ることが可能となっている		
⑥中施策事業を構成する事務事業(手段)	・区長会・区長連合会 ・区一括交付金・正副区長報酬 ・コミュニティ助成事業 ・集会所改修等補助金(借上事業含む) ・町内会等配布物(回覧・全戸配布) ・地縁団体の登録、変更手続き及び証明書交付 ・土木工事認定委員会		

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
地区交流拠点の年間設置箇所数	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	1	1	1	1	1	1
	実績値	1	1				
単位	箇所						
集会所改修等補助の件数	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	5	5	5	5	5	5
	実績値	13	15				
単位	箇所						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

## ■コスト

事業実施年度		決算額		予算額	
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	
① 総事業費(a+b)		78,391千円	69,848千円		
人件費	a 事業費合計	71,961千円	69,848千円	87,199千円	
	正規職員	人数	1.1人	0人	
		b 金額	6,430千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		6,430千円	0千円		
② 補助金等(収入)		5,000千円	2,500千円	20,000千円	
③ コスト(①-②)		73,391千円	67,348千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		1,066円	979円		

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	集会所改修の要綱改正による借上事業の補助も可能となったため各地区に対する補助がきめ細かに出来ている。改修工事も件数が増え、大規模なものから小規模なものまで幅広い地区の補助ができています。
-----------------------------	---

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	地区交流の拠点となる市民交流センターにおいて、各区、町内会長の相談を受けれるような体制を整えたい。 平成31年度は集会所建替事業の補助(15,000千円)がついたので、沓掛町中川町内会の集会所の建替を行うためコスト増となっている。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	集会所補助事業において、年度内に申請できる回数や申請の方法が煩雑にならないようにするなどのルールを決め予算の見込みをある程度把握できるようにしたい。 市民交流センターと区、町内会が関わった事業の開催を行いたい。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況	区一括交付金のプロジェクトチームを発足し、地域による格差の是正に努めた。面積割と世帯割の一部を変更した案が臨時区長会で承認された。区一括交付金は抜本的に見直す必要があるため来年度以降に再度プロジェクトチームを立ち上げ複数年をかけて見直すこととした。	
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況	サロンの新規立ち上げについての実績はなかったが、既存のサロンを有効に利用することで成果が出ている。区長連合会のサロン立ち上げのための予算を他事業に充当することで区の活動が活性化するように区長連合会で話し合う。	

# 中施策評価書

作成日 令和元年 6月 6日

中施策事業名	LGBT事業	部課名	市民生活部・市民協働課
		作成者	水野 美樹

①めざすまちの姿	15 誰もが身近に寄り合える場所があり、地域の人と支え合いながら孤立することなく暮らすことができる
②大施策	身近に寄り合える場所をつくり、地域で支え合える環境をつくる
③中施策	多様な人が交流する機会を充実させ、地域での人と人とのつながりをつくる
④中施策事業の対象	市民及び職員
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	L（レズビアン・女性同性愛者）G（ゲイ・男性同性愛者）B（バイセクシュアル・両性愛者）T（トランスジェンダー・生まれたときの性別にとらわれずに生きたい）その他、多様な性についての理解が進んでいる
⑥中施策事業を構成する事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>理解促進研修会、講演会の開催</li> <li>他自治体との意見交換会</li> </ul>

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
LGBT理解促進のための研修会	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	5	6	7	8	9	8
	実績値	6	6				
単位	回						
	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

## ■コスト

事業実施年度		決算額	決算額	予算額	
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	
① 総事業費(a+b)		3,282千円	427千円		
人件費	a 事業費合計	476千円	427千円	308千円	
	正規職員	人数	0.48人	0人	
		b 金額	2,806千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		2,806千円	0千円		
② 補助金等(収入)		0千円	0千円	0千円	
③ コスト(①-②)		3,282千円	427千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		48円	6円		

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	平成30年度は、職員研修3回、民生委員向け研修1回、市教育委員向け研修1回、星城高校教諭向け研修1回、男女共同参画フェスタにおいてLGBTの劇を行い、他課でも市民向けの講座を開催した。職員の8割の受講が完了したため今後は市民向けの研修を開催したい。
-----------------------------	--

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	職員研修は概ね完了したので、2年に1度の開催にし小中学校向けの研修を増やしていく。平成31年度より名古屋レインボープライドが開催されるため豊明市でもLGBT理解に向けブース出展など協力をする。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	近隣市町でもLGBT理解促進の動きが見られるため、連携して、より住みやすい街づくりを目指す。パートナーシップ制度を整えることよりも知識を深め、誰もが嫌な思いをすることのないまちにするため今後もイベントへの後援、協賛を行う。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況	職員向け研修3回を行い、職員の約8割は受講が完了している。 また、民生委員向けにも1回研修を行い、星城高校の教諭100名にも1回研修を行い、市内公立小中学校の校長、養護教諭向けにも1回研修を行った。	
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況	岐阜県関市やLGBT関連団体と意見交換会を5回開催し、LGBTを取り巻く様々な課題について話し合いを行った。	

# 中施策評価書

作成日 令和元年 5月 27日

中施策事業名	豊明夏・秋まつり支援事業	部課名	市民生活部・市民協働課
		作成者	水野 美樹
①めざすまちの姿	21 市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している		
②大施策	とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる		
③中施策	市内外の人がとよあけの魅力を楽しめる環境をつくる		
④中施策事業の対象	市民、市外の人及び実行委員会		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	豊明市の風物詩である夏まつり及び秋まつりを多くの人に体感してもらうことにより、実行委員としてまつりの企画・運営に携わる人材の増加・育成につながっている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊明夏まつり実行委員会事務</li> <li>・豊明秋まつり実行委員会事務</li> </ul>		

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
豊明秋まつり来場者数(延べ)	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
	実績値	25,000	15,000				
単位	人						
豊明夏まつり来場者数(延べ)	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	52,000	52,000	52,000	52,000	52,000	52,000
	実績値	48,000	46,800				
単位	人						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

## ■コスト

事業実施年度		決算額	決算額	予算額
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
① 総事業費(a+b)		10,007千円	6,500千円	
人件費	a 事業費合計	6,500千円	6,500千円	6,500千円
	正規職員	人数	0.6人	0人
		b 金額	3,507千円	0千円
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人
		金額	0千円	0千円
人件費合計		3,507千円	0千円	
② 補助金等(収入)		0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)		10,007千円	6,500千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		145円	94円	

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	夏まつり、秋まつりの実行委員とも月1度の打合せを行った。 まつりの成功に向けて、夏は、流行を取り入れた曲の盆踊り、ゾンビメイクの体験など新しいことも取り入れた。秋は毎年変わるテーマに合わせた会場作りで盛り上がったが午後から雨が降り来場者数は伸び悩んだ。
-----------------------------	---

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	実行委員会が主催の事業であるため、“めざすまちの姿”に沿ったテーマや内容を提案、助言していく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	引き続き事業を行う。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況		
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況		



# 中施策評価書

作成日 令和元年 5月 30日

中施策事業名	友好自治体交流事業	部課名	市民生活部・市民協働課
		作成者	水野 美樹

①めざすまちの姿	31 豊明市に魅力があふれ、「通過するまち」から、「足を運んでいただけるまち」になっている
②大施策	とよあけの魅力を高め、訪れる人を増やす
③中施策	とよあけの魅力を発信する
④中施策事業の対象	市民・市民団体等
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	上松町・豊根村に市民や団体が訪問することによって交流が生まれ、人々に豊明市の魅力を伝えることができている。友好都市交流事業は、お互いの市民及び職員を派遣・受入交流し、お互いの文化を伝え、学ぶことができている。
⑥中施策事業を構成する事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊根村との交流事業</li> <li>・上松町との交流事業</li> </ul>

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
上松町交流事業参加者数	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	40	40	40	40	40	40
	実績値	19	0				
単位	人						
豊根村温泉施設利用者	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
	実績値	841	1,167				
単位	人						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

## ■コスト

事業実施年度		決算額	決算額	予算額	
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	
① 総事業費(a+b)		7,812千円	4,053千円		
人件費	a 事業費合計	3,603千円	4,053千円	4,506千円	
	正規職員	人数	0.72人	0人	
		b 金額	4,209千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		4,209千円	0千円		
② 補助金等(収入)		0千円	0千円	0千円	
③ コスト(①-②)		7,812千円	4,053千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		114円	59円		

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	指標の内容を見直す必要がある	△	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	やや改善が必要	△	B
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	上松町植樹祭については平成30年度より木の見守り期間に入ったため代わりに事業で交流を図るため名称を上松町交流事業に変更した。赤沢の散策や木の加工を体験する事業を実施し交流を図る。その予定であったが、平成30年度は台風のため中止となった。豊根村の温泉施設利用は、PR方法を工夫し利用者を伸ばした。
-----------------------------	---

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	平成31年4月にウッドスタート事業の打合せと交流事業の打合せを上松町役場の担当の方と行い有効な交流事業となるよう調整した。 豊根村温泉施設利用はPRに成功したため利用数が伸びた。このままPRを続けたい。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	上松町の交流事業がマンネリ化しないよう上松町の担当の方と打合せを行い上松の魅力をPRできるような事業を行う。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況		
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況		

# 中施策評価書

作成日 令和元年 6月 6日

中施策事業名	市民活動支援事業	部課名	市民生活部・市民協働課
		作成者	水野 美樹

①めざすまちの姿	34 若い世代も地域で活動し、地域の自治力が高まっている
②大施策	若い世代が地域活動で活躍し、地域の自治力を高める
③中施策	世代を超えて連携し、地域の問題を自ら解決する環境をつくる
④中施策事業の対象	市内地域社会活動団体に所属している人
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市内各団体が市に帰属することなく、自立し相互に支え合いながら地域活動の一角を担っている。また、市民活動の拠点となる市民交流センターを立ち上げ活動の中心の場所となるよう検討委員会を開催している。
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	協働推進委員会開催、協働推進計画推進・地域社会活動の活動拠点関係・市民活動保険、アダプトプログラム推進・市民提案型まちづくり事業交付金・コミュニティ提案型まちづくり事業交付金・協働推進担当職員関係・NPOインターン研修・市民活動室の運営、管理、情報誌の発行、サイト運営、備品、公用車貸出・市民協働講座の開催

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
市民提案型交付金の採択事業数	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	13	13	13	13	13	13
	実績値	9	8				
単位	事業						
パソコン活用講座の参加者数(パソコン持込みも含む)	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	60	60	60	60	60	60
	実績値	47	48				
単位	人						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

## ■コスト

事業実施年度		決算額	決算額	予算額	
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	
① 総事業費(a+b)		11,192千円	6,810千円		
a	事業費合計	2,833千円	6,810千円	9,013千円	
	正規職員	人数	1.43人	0人	
		b金額	8,359千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		8,359千円	0千円		
② 補助金等(収入)		0千円	0千円	0千円	
③ コスト(①-②)		11,192千円	6,810千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		163円	99円		

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	市民提案型は実績があまり変わらなかった。ヤングコースの申請がなかったので、平成31年度は高校や大学に働きかけヤングコースの参加を呼びかける必要がある。パソコン活用講座については毎年一定数の利用がある。市民交流センターの開設により職員人件費がコスト増となっている。
-----------------------------	---

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	市民交流センターが開設し半年が経ち、貸し部屋の運用などで問題提議もあったが、順調に運用されている。レビューの中で、今年度は学生や若い世代に交流センターを周知するため夏休みに大学生に講師になってもらい、小、中学生の宿題を見るイベントなどの開催を予定している。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	市民交流センターを運営する運営委員会がNPO法人化をし研修事業などの委託を受けることができるように調整を図る。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況	市民交流センターが開設し、オープニングイベントにはたくさんの方が集まった。しかし、周知が足りなかったのか日常の利用者は少なかったため、もっとたくさんの人に交流センターの存在を知ってもらうために運営委員会、スタッフと一緒にイベントを考え、バスツアーや講座を開催した。	
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況	備品については、現状の数で運用し、利用が重なる時は話し合いにて運用しているため今後もこのまま運用を続けることとした。	

# 中施策評価書

作成日 令和元年 6月 6日

中施策事業名	男女共同参画推進事業	部課名	市民生活部・市民協働課
		作成者	水野 美樹

①めざすまちの姿	36 女性が職場や地域で活躍し続けている
②大施策	女性が職場や地域で活躍し続けられる環境をつくる
③中施策	職場や地域において女性の活躍の場を増やす
④中施策事業の対象	市内在住・在勤の女性
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	女性の社会生活活動やグループ活動への参加のきっかけづくりや子育て中の女性が自分のために使える時間（学習時間）の提供を目的とした講座を実施することで、様々な年代の女性が、自分らしい生き方を選択できる第一歩となっている
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女共同参画懇話会の開催及び施策の企画推進</li> <li>男女共同参画講座の企画及び開催</li> <li>男女共同参画フェスタの開催</li> <li>男女共同参画推進担当職員に関すること</li> </ul>

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
講座参加満足度（アンケート調査）	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	97	98	98	98	100	100
	実績値	85	85				
単位	%						
男女共同参画フェスタ参加者	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	200	300	300	300	300	300
	実績値	105	172				
単位	人						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

## ■コスト

事業実施年度		決算額		予算額
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
① 総事業費(a+b)		4,577千円	1,096千円	
人件費	a 事業費合計	953千円	1,096千円	1,392千円
	正規職員	人数	0.62人	0人
		b 金額	3,624千円	0千円
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人
		金額	0千円	0千円
人件費合計		3,624千円	0千円	
② 補助金等(収入)		0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)		4,577千円	1,096千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		67円	16円	

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	女性のための学習参加支援型講座は若い世代の受講生も増えるように工夫し若い世代の受講者も増えた。世代が上の参加者も若い世代と交流が出来て満足という意見もあった。今後も多世代の方が受講しやすいテーマ設定をしていきたい。 パパ講座は参加申し込みが多く午前みの開催を急遽、午前、午後の2回開催とした。
-----------------------------	---

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	男女共同参画フェスタで上映する映画のテーマを決め、早い段階から周知出来るように準備に取り組み参加者を増やしたい。川柳を通年募集にしたことで、募集の方法を考えたい。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	「女性のための学習参加型支援講座」、「パパ講座」など名称についてのご意見が数件寄せられる。LGBTを支援する一方で、「女性」や「パパ」という言葉を講座のタイトルとして活用するのはどうかということをも男女共同参画懇話会の中でも話し合いたい。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況	男女共同参画フェスタは、標語・川柳の表彰式とLGBTに関する劇、トークセッションを公演し、172名の来場があり、LGBTについて大いに理解が進んだ。	
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況	講座については、女性のための「らしく」講座も、男性(パパ)の講座も申し込みが多く、抽選にて参加者を決めているのでテーマ設定がよく、周知もしっかり行き届いているのだと思う。今後も同様に参加者を増やしたい。	